

Technical Information Management System in Kawasaki Steel Corporation

(Ryohei Noda)

(Yasuaki Tateno)

(Tadashi Katsuki)

(Wataru Sakamoto)

(Kensuke Tsubakino)

:
58 7

(1) (2)
(3) (4)

Synopsis :

An on-line technical information retrieval system in Kawasaki Steel Corporation started its service in July 1983. The system has been developed from the conventional batch system. Technical information consists of three types of documents; technical reports, business trip reports, and outside documents obtained. The system has the following characteristics. (1) All steel works and major offices are connected by the computer network, with sufficient number of computer terminals. (2) Information can be searched from various points of view using various index keys. (3) Kawasaki's own thesaurus is edited. (4) The names of organizations and meetings are standardized for retrieval convenience. The system enables engineers in the whole company to gain access to desired information efficiently.

(c)JFE Steel Corporation, 2003

野田 良平^{*2} 立野 靖章^{*3} 香月 忠^{*4} 坂本 彌^{*5} 椿野 健輔^{*6}

Technical Information Management System in Kawasaki Steel Corporation

Ryohei Noda, Yasuaki Tateo, Tadashi Katsuki, Wataru Sakamoto, Kazuhiko Tsubakino

要旨

昭和58年7月 社内技術情報のオンライン検索システム

Synopsis:

An on-line technical information retrieval system in Kawasaki Steel Corpo.

が稼動した。このシステムは、それまでのバッチシステム

ration started its service in July 1983. The system has been developed from the conventional batch system. Technical information consists of three types

表 3 技術情報の種類と登録件数

種 類	登録済件数 (58年3月現在)	追加予定件数 (件/年)
技術レポート	34 535	4 600
出張報告	国内	1 000
	国外	600
社外資料	2 973	3 800

う機能を追加したもの)を使用している。

主な特徴は

- (1) インバーテッドファイルによる効率的検索
 - (2) 日本語処理
- である。

5.3 データベース

本システムのデータベースは、書誌事項、キーワード、抄録など

データベース設計において特に以下を考慮した。

- (4) その他次の条件に相当する資料

- (1) データベースの一元化

図 1-1-1 技術情報管理システムの概要

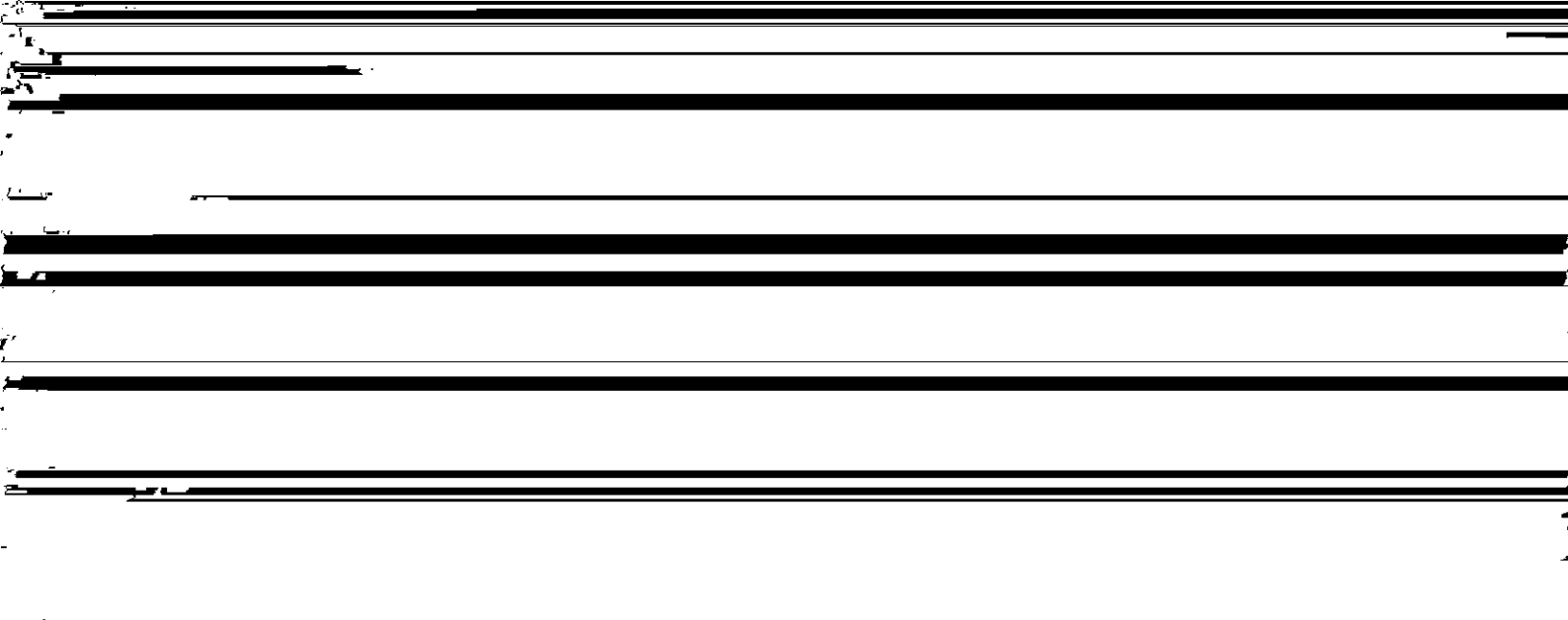


図 1-1-1 技術情報管理システムの概要



法人団体カナ カワサキセイテツ;カワテツ;チハ。
 法人団体 川崎製鉄（株）；千葉

会議名カナ アツインリロンフ"カイ 10 レイインシ"ユンカツシヨウイインカイ。 ニホンテツコウキヨウカイ

図 5 基準マスター内容のデータベースへの付加例

(2) 社内分類

社内分類は、基本的にはキーワードと同様に、レポートの主題を表現するものであるが、その主な目的は次の通りである。

- (a) SDI などにおける包括的な検索のキーとして使用する。
- (b) 技術情報の広報誌編集や、統計資料作成時の分類キーとして使用する。

③式の結果は同じである。

図7は、OPT AUTOSAVE というコマンドで集合を自動保存し、集合名 (¥1, ¥2) により検索した例である。

図8は、BROUSE (索引語表示コマンド) により、アツイタという語を中心に前後5つの索引語を表示させ、語系号を使って検索した例である。

て使用する。

た例である。

RS> BRD AL アツイ
 +FRS2001 「AL」項目のインバーテッドファイルより

て出力したものである。会議名には発表誌名も含まれる。
 このように表4のインバーテッドファイル項目と、表5のコマン

#00001 7 2000.10.10

#00003 1 アセンブラ
 #00004 1 アセンブラコンパ
 #00005 53 アタマイトール
 * #00006 924 アツイ

(1) 文章検索

文章形式項目に指定した項目（表4の法人・団体カナ、発表機

```
RS> SEA MT OSEA SAME AIME
+FRS100I 4 件見つかりました。
RS> OUT EL(TI MT)
```

川崎製鉄(株)技術情報DATABASE

```
#1
  標題      OSEA出席, 需要家訪問及びONGC/BHSプロジェクト業務
  会議名カナ OFFSHORE SOUTH EAST ASIA CONF & EXHIBITION 1982. OFFSHORE SOUTH
```

PETROLEUM ENGINEERS;AIME

図 12 文章検索演算子 SAME による検索および出力例

と同じように、データベース上は登録されない。

```
RS> SEA AJ 6770
```

両辺の語が、同一センテンス中にあることを指定するが、語順は指定しない。

図 11 は MT (会議名) の同一センテンス中に、PETROLEIIM

```
RS> AND SC 4
+FRS102I 89 件見つかりました。( ¥13 )
RS> AND TI @開発@
+FRS109I マスタファイル検索を行います
```